



小田原果樹の学校

みかんの摘果とジュース作りを体験しました

8月10日(水)、小田原果樹の学校「みかんコース」にて、みかんの摘果とあおみかんジュース作りを体験しました。



朝から気温 30℃のなか、みかん畑へ向かいました。受入れ生産者の石井さんは、前日から草刈りや蜂の巣がないかの確認など準備をしてくださいました。今年は、暑さのせいかわりも多そうです。

1本の木を、4家族9人で摘果しました。たくさんついた実をすべてそのまま育てると、1つひとつの実に十分な栄養が行きわたらません。甘くて大きい、おいしいみかんに育てるには、小さい実や傷がついた実を取り除く「摘果」は大切な作業です。たくさん摘果した小さなみかんをしぼって、ジュースを作りました。

みかんができるまでに、たくさんの手作業で時間がかかることがわかりました。みかんを食べるときは、子どもたちに、大変な手作業のことを話しながら、いただきたいと思います(水)



生産者とブルーベリー収穫体験交流

8月6日(土) ジョイファーム小田原の畑で、ブルーベリーの収穫体験を行いました。真夏に収穫時期を迎えるブルーベリーの実を一つひとつ選別しながら収穫する作業は、炎天下のなかではとても大変でしたが、いっしょに参加した子どもたちは楽しそうに摘んでいました。「1本の樹にどれくらい実がなるの？」など生産者に質問したり、「粒が大きくて色が濃い方がおいしいね」とブルーベリーを味見して確かめたり。ふだん顔を見ることのない生産者の方との交流ができて、とても良い機会となりました。(ひ)



「ラオスの子どもたちへ絵本を送ろう」報告



7月29日(金)、おだわら市民交流センターUMECOにて、親子参加企画「ラオスの子どもたちへ絵本を送ろう」を開催しました。「特定非営利活動法人ラオスのこども」より講師をお招きし、ラオスの子どもたちに送る「はらぺこあおむし」などの絵本にラオス語の翻訳シートを貼りました。講師の方より、ラオスの子どもたちのくらしの様子のお話と、翻訳シートを貼った絵本のラオス語と日本語での読み聞かせがありました。身近な絵本をとおして世界に思いをはせ、小さな支援を実践するよい機会になりました。(木)

センターからこんにちは！

こんにちは。【中村 貴弘】と申します。パルシステム神奈川ゆめコープの配送を始めて約8年になります。今年の4月から平塚センターの勤務になりました。以前所属していたセンターは川崎センターと宮前センターで配送を行っておりました。平塚センターは小鍋島という所にあります。たくさんのお畑があり、その周辺エリアには山・川・海があり日々癒されながら配送をさせていただいています。

前職は美容師をしておりました。前職の影響もあり、組合員のみなさんのちょっとした髪型の変化にも敏感に気付いてしまいます。まだまだ暑い日が続きますので熱中症にならないように気をつけて組合員のみなさんに笑顔で元気にお届け致します。



びん返してキャンペーン リユースびん1本返却につき3ポイントプレゼント!

返却対象期間: 8月29日(月)~10月21日(金)
 対象のびん: すべてのパルシステムリユースびん

〈参加方法〉注文用紙に6桁番号と返却した本数を記入し、リユースびんを返却してください。

〈6桁番号〉 **106003**

※6桁注文番号を記入し忘れた場合は、ポイントが付きませんのでご注意ください。

® マークのびんは生協に返してね!

リユースびん 7月回収率 実績 90.4%

◎リユースびんは洗って何度も使える環境にやさしいびんです。きれいに洗って乾かしてパルシステムに返却をお願いします。今後もリユース・リサイクルへのご協力をお願いします。商品カタログやたまごパックも回収しています。

エリアブログをご覧ください♪

産地交流や企画の報告など組合員活動の様子が見られます!



組合員活動みんなのブログから
 エリアブログ
 「はあと to はあと」
<http://palsystem-kanagawa.yume.lekumo.biz/yume09>

